

第6章 環境保全への理解と取組

第1節 環境教育・環境学習の充実

1 環境教育・環境学習の推進

(1) 環境学習講座の実施

環境活動団体と協力して、出前講座や環境ワークショップ、自然観察体験など、多様な環境学習を積極的に実施しています。(巻末資料160P<資料75>)

令和元年度 環境学習活動のメニューと実施状況

メニュー	概要	目的	対象者	実施場所	講座内容
環境ワークショップ	市が企画・運営などを行う環境学習講座	環境問題全般の知識の習得や人材育成	小学生から大人まで	屋内（環境業務センター等）	(主なもの) 緑のカーテン作り方講座、リサイクル工作、段ボールを使った「生ごみコンポスト」等
環境学習支援事業	市民（地域）からの要望により実施する「出前講座」	地域における環境問題全般の知識の習得	小学生から大人まで	学校やコミュニティセンター、集会場等	
自然観察体験事業	海や川、公園など屋外で実施する環境学習講座	屋外での自然観察を通じ、自然保護や生物多様性について認識を深める	小学生から大人まで	屋外	(主なもの) 水生生物観察会、水産試験場見学会、野鳥の観察会等



クールチョイスでエコ学習



段ボールを使った生ごみコンポスト



水生生物観察会

(2) 南部クリーンセンター「エコホテル」の利用促進

南部クリーンセンターの管理棟には、環境問題について学習できる展示啓発施設「エコホテル」があります。一階には紙すきや工作等を実際に体験できる「学習室」、二階にはパネルや映像を通して広く環境問題を学習できる展示ギャラリーや、施設概要のDVDを視聴できる見学者説明室があり、見たり、聞いたり、また、体験を通して、楽しみながら学習できる施設です。見学コースは、職員の説明を受けながら、ごみ処理施設、廃棄物再生利用施設などを見学し、実際のごみ処理方法の実情を知ることができます。(巻末資料 160 P<資料 76>)

令和元年度利用者数 3,027 人



紙すき体験



親子工作会



施設見学コース

(3) 高松市環境保全ポスターコンクールの実施

市民の良好な環境の保全に向けての意識啓発を図ることを目的に、毎年、環境保全をテーマにしたポスターコンクールを開催しています。

応募された作品の中から「小学校低学年の部」、「小学校高学年の部」、「中学校の部」のそれぞれについて、市長賞1点、優秀賞3点、佳作6点を選定し、賞状と副賞を贈呈するほか、本市が企画するイベントや各種制作物に使用しています。

【令和元年度応募作品数】

- | | |
|-----------|------|
| ・小学校低学年の部 | 36点 |
| ・小学校高学年の部 | 44点 |
| ・中学校の部 | 144点 |

(4) 水源地域との交流活動の実施

早明浦ダム周辺の嶺北地域と本市の子どもたちが、お互いを訪問し合う子ども交歓会は、台風第10号の影響により嶺北地域への訪問は中止となりましたが、嶺北地域からの訪問による交歓会で交流活動を通じて友情を育むとともに、水の大切さや有効利用、水源の涵養等について学ぶことができました。

【令和元年度】

早明浦湖水祭「四国の子ども交歓会」

台風第10号の接近により中止

高松・嶺北子ども交歓会

実施日：11月2日及び3日の2日間

実施場所：e-とびあ・かがわ、

ホテルセカンドステージ等

嶺北地域からの参加者：子ども11人

本市からの参加者：子ども14人



高松・嶺北子ども交歓会
「水の学習」の様子

(5) こども農園整備事業

子どもたちに、農作業を通じて自然にふれあえる機会を提供し、農作物を育てる喜びと、勤労の尊さを体験させる場としてこども農園事業を実施し、健康で情操豊かな子どもの育成を図りました。(巻末資料160P<資料77>)

令和元年度 7農園 3,712㎡



こども農園事業の様子

2 学校教育活動の推進

(1) 概要

高松市教育委員会では、環境教育を「教育指針」の中で推進項目としてとりあげ、市内の小・中学校に指導を行っています。具体的な指導項目については、以下の3点です。

- ・学習指導要領における環境教育に関わる内容の指導を教育課程に位置付け、計画的・発展的に実施する。
- ・上下水道施設やごみ処理施設の見学等を通して、環境問題への関心を高め、実践を促す。
- ・地域の水環境、水文化、節水と水の有効利用に対する、幼児児童生徒の意識を高める。

(2) 小学校社会科副読本の発行

学校教育を通してごみ処理に対する理解と正しい知識を学んでもらうことを目的に、副読本「きれいな高松に・くらしとごみ」を高松市小学校社会科研究会所属の先生方の編集により毎年度発行し、小学校4年生の社会科の補助教材として活用しています。

(3) 各学校における環境教育の推進

- ・ペットボトル、ペットボトルキャップ、プルタブ・アルミ缶、牛乳パック等の回収
- ・校区の河川等の水質改善を課題とした総合的な学習の時間の取組
- ・校区内河川、道路、側溝の清掃活動
- ・グリーンカーテンの活用 など



ペットボトル、アルミ缶回収



地域の自主清掃

(4) 「チャレンジ！グリーン活動」への参加

「チャレンジ！グリーン活動」とは、平成14年度から香川県教育委員会が実施しているもので、県内の公立小中学校などの学級や児童会、生徒会などのグループが中心となり、環境保全に関する活動を推進することを通して、よりよい環境づくりや環境の保全に配慮した望ましい行動がとれる児童生徒を育成することを目指しています。

令和元年度は6校、6の推進グループが参加して、自主的に活動内容を考え、栽培、緑化運動、自然保護活動、リサイクル推進活動、プルタブ・アルミ缶の回収活動、地域清掃等の活動に取り組みました。

学校数・グループ数（令和元年度）

学校名	グループ数
新番丁小学校	1
香西小学校	1
十河小学校	1
屋島東小学校	1
牟礼南小学校	1
古高松中学校	1
6学校	6

(5) 水環境学習の推進

中学生を対象とした「香川用水の水源巡りの旅」を実施し、香川用水及び水資源に対する認識を深めています。令和元年度は、9月から10月にかけて2校（参加生徒数296人）が参加し、池田ダム、香川用水記念公園、東西分水工、早明浦ダムを見学しました。

水源巡りの旅の後、水についてグループ別に調べ、発表会を実施するなど、総合的な学習の時間等を有効に活用し、体験と調べ学習、啓発活動を一体化した環境学習を展開しています。

第2節 環境保全活動の推進

1 自主的な環境保全活動の推進

(1) 環境学習活動に関する人材育成の推進

ア 環境学習活動補助事業

環境学習を自主的に企画・運営し実施する環境活動団体等に対して補助金を交付し、支援するとともに、協働して指導者の養成講座を実施するなど、人材の育成に取り組んでいます。

【令和元年度事業実績】

団体名	事業名	補助金額
特定非営利活動法人奥塩江交流ボランティア協会	自然の恵み利用塾～昔の人の生活に学ぶ～	58,096円

(2) 環境展・環境活動展の開催

国の定めた6月の「環境月間」に併せて環境展を開催し、「瀬戸・高松広域連携中枢都市圏事業」の活動写真を始め、クールチョイスや緑のカーテンなどを紹介したパネル展示を行いました。また11月には、環境に関する幅広い分野について、市内で独自の活動を行っている環境活動団体を紹介する環境活動展を開催し、市民の環境意識の向上に努めました。

ア 環境展

(ア) 開催期間

令和元年6月19日～6月25日

(イ) 開催場所

瓦町FLAG8階 市民交流プラザI KODE瓦町

(ウ) 主な内容

a パネル展示

- (a) 地球温暖化防止・クールチョイス・クールビズの紹介
 - (b) 省エネルギー及びZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）の紹介
 - (c) 里海づくり・海底ごみ対策の紹介
 - (d) たかまつ緑のカーテン・コンテストの紹介
 - (e) 環境配慮モデルリサイクル製品の紹介
 - (f) 『プラスチック・スマート』『マイボトル・マイカップ』キャンペーンの紹介
 - (g) 不法投棄撲滅ふれあいクリーン作戦の紹介
 - ・ 全国ごみ不法投棄監視ウィークの紹介
 - ・ 地域の子どもたちとの環境意識啓発活動の紹介
 - ・ 瀬戸・高松広域連携中枢都市圏事業に係る取組みの紹介
- b フードドライブの開催
- c 香川県地球温暖化防止活動推進センターせと eco・かがわによる「10分で分かる環境講座」
- d 四国地方ESD活動支援センター（四国ESDセンター）による「ESD環境教育・活動に関する相談窓口」



環境展期間中の行事の様子

イ 環境活動展

(ア) 開催期間

令和元年10月30日 ～ 11月5日

(イ) 開催場所

瓦町FLAG 8階 市民交流プラザ IKODE 瓦町

(ウ) 主な内容

各環境活動団体の活動状況を紹介したパネルや成果品の展示、パンフレットの配布等

(エ) 参加団体（五十音順、敬称略）

- a オイスカ高松推進協議会
- b 大野校区コミュニティ協議会 環境部会
- c 特定非営利活動法人奥塩江交流ボランティア協会
- d 公益社団法人 香川県浄化槽協会
- e 香川県地球温暖化防止活動推進センターせと eco・かがわ
- f 香川さくらの会
- g かがわ自然観察会
- h 瀬戸内海国立公園 五色台ビジターセンター
- i 四国環境パートナーシップオフィス（四国EPO）
- j 高松市消費者団体連絡協議会
- k 特定非営利活動法人 どんぐりネットワーク



環境活動展の様子

(3) 「いざ里山」市民活動支援事業の推進

居住地近くで、従来、生活の一部として利用されてきた里山を保全するとともに、市民が身近な自然を見直すきっかけづくりのため、地域住民等が行う里山の保全活動を支援しています。

令和元年度は、内場山（塩江町）、荒神林の山（男木町）、いわわれの石の山（東植田町）、天神山（東植田町）、竜権さんの山（鬼無町）、秀峰勝賀（香西町）の6団体の活動を支援しました。



秀峰勝賀登山道づくり活動

(4) 「たかまつマイロード」事業の支援

「たかまつマイロード」は、道路愛護団体が自発的意思のもと市が管理する道路の一定区間の清掃・緑化等の維持管理を行うものです。市はこれを支援することにより、道路の環境美化だけでなく道路への愛護意識の高揚を図り、道路利用者のマナー向上を啓発することを目的としています。平成13年度のモデル実施に引き続き、制度のPR等に積極的に取り組み、令和元年度末現在で123団体と契約を締結し、道路の環境美化推進に努めています。

(5) 廃食油収集ステーション事業の推進

消費者の立場から、高松市消費者団体連絡協議会が地域で主体的に取り組んできた、廃食油の収集活動を支援するとともに、同協議会及び19地区コミュニティ協議会に廃食油収集ステーション運営業務を委託し、家庭で生じた廃食油のリサイクルと環境汚染防止に努めています。（巻末資料160P＜資料78＞）

また、収集した廃食油の一部を使用して石けん作りの講座を開催するなど、市民の省資源意識の向上を図っています。

令和元年度収集日数 84 日 収集量 6,804 L

【収集場所及び時間】

- ・環境業務センター（年6回） 午前10時～正午
- ・市内22箇所のコミュニティセンター（年3～4回） 各地区の指定する日時